



花小金井南中学校
コミュニティ・スクール通信

まほろば

「素晴らしい場所」となりますように

No. 8

令和5年6月16日発行
小平市立花小金井南中学校
学校経営協議会
会長 眞部 弘



<https://www.kodaira.ed.jp/38kodaira/>

第2回学校経営協議会開催にあたり

学校経営協議会 会長 眞部 弘

自宅の近くに、花小金井南中学校を3月に卒業した男子生徒が2名住んでいます。本人たちに話しかけても最近はずかしいのか、あいさつを交わす程度ですが、保護者の方と話をすると、「都立高校に進学することができてよかった」というようなことを聞くことができました。まだ小さいころから成長を見てきたこともあり、感傷的な気持ちになりました。これは、年を取ったせいなのでしょう。地域の子供たちの成長を見るということの良さを感じます。

I 第2回学校経営協議会（5月8日実施）報告

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1) 校長あいさつ | (5) 運動会について |
| (2) 会長あいさつ | ① 運動会担当より（遠藤彰秀主任教諭） |
| (3) 校長より | ② 当日参加した委員から |
| ① 令和5年度学校評価について | (6) 分科会 |
| (4) 学校情報について | ① 地域防災 |
| ① 教務関係（今井洋平主幹教諭） | ② 学習支援 |
| ② 生活関係（遠藤彰秀主任教諭） | ③ 生徒・地域支援 |
| ③ 学習・ICT関係（齋藤暁指導教諭） | (7) 連絡事項 |
| ④ 学校全般（飛永直子副校長） | (8) 副会長より |

(3) 校長より

- ① 令和5年度 学校評価について

コミュニティ・スクール1年目として、地域の方にご協力をいただき、様々な教育活動をすすめていきます。学校評価計画表を作成しました。ホームページに載せます。本校の研究のことや特別支援教育の推進、働き方改革など、昨年度から一部変更しています。

(4) 学校情報について

- ① 教務関係（今井洋平主幹教諭）

連休明けから運動会一色となっていました。その間に教育実習生が3名実習を行いました。とてもよくやっていました。現在は、期末テストに向けて勉強に取り組んでいます。1年生にとっては初めての定期テストとなります。テストの受け方などの指導もしながら準備を進めています。期末テストに取り組みながら、部活動では3年生の引退をかけた大会が行われています。テスト前ですが大会前の練習も必要なため、勉強と部活動の両方に取り組んでいる生徒も多いです。行事でいえば、1年生は9月の校外学習、2年生は7月の校外学習と11月の職場体験、3年生は7月の修学旅行に取り組んでいます。

今年度より、1学期の通知表で担任からの所見をなくすことにしました。これは、7月末に実施する三者面談（全校生徒対象）があるため、そこで詳しい内容を生徒や保護者の方に伝えることができるために教員の働き方改革のひとつとして決定しました。

② 生活関係（遠藤彰秀主任教諭）

運動会を経て、クラスの中で仲良くなった。それはとてもよいことですが、「これくらいはからかってもらいたい」という気持ちがでてしまい、いじめにつながるケースもあります。いじめについては、学年、学校全体でしっかり見て指導していきます。

登下校時に、生徒が横に広がって歩いているということや、公園での遊び方のルールを守らずに危険だということで連絡をいただくことがあります。これらについても、生徒や地域の子供たちの安全・安心のために意識をして行動するように働きかけを続けていきます。何か気になることがあればご連絡ください。

③ 学習・ICT関係（齋藤暁指導教諭）

欠席連絡を電話ではなく、連絡フォームに入力していただく方法に変更して、しばらくたちますが、うまく運営が軌道に乗りました。職員室ではたくさんの電話が同時に鳴ることがなくなり、落ち着いた朝を迎えることができている、必要に応じてご家庭に学校から連絡をするという形をつくることができている。

また、CSのおかげで検定試験が当たり前のようにできていることに感謝しています。生徒は、休み時間を利用して意欲的に検定の勉強をしています。今後は、生徒に対して、いつもの場所で受験できることを甘えにするのではなく、その中で本番としての緊張感を作らせていきたいと思っています（具体的には、決められた時間の少し前に集合し、静かに座って待てるようになど）。また、それが当たり前のようにできることに感謝する気持ちも伝えていきたいと思っています。

クロームブックの活用については、意図があって持ち帰るという花南中のスタイルが身に付いてきています。特に生徒からこの点において不満のような話は聞こえてきません。「もっと持ち帰りたい」、「今日はいらない」など、自分で判断して持ち帰るということを今後も続けていきます。しっかりと学校における場所があるということも生きてきたと思います。

ICT機器の活用が進み、セキュリティについての研修も必要と考えています。まずは教職員の研修から進めていきます。

3年生のスピーキングテストについては、仕組みがとても複雑でさらに、2年目ということもあり、仕組みが発展途上と感じるような場面が多々あります。受験する生徒や保護者の方に不安を与えないように、準備を進めていこうと思っています。

④ その他（飛永直子副校長）

○特別支援学級7組のことについて

運動会では、通常の学級との交流ができてよかったと思います。通常の学級の1年生と全員リレーやいかだ流しに取り組みました。事前に、通常の学級の1年生に、7組の先生を講師として、特別支援教育の理解教室を行いました。「障がいとはなにか」「7組ではどんな生徒が学習しているのか」などの話を真剣に聞いて考えていました。このような取組を経て、行われた運動会では、7組の生徒からも「通常の学級の1年生と交流ができて楽しかった」という感想がでていました。また、通常の学級からも、「積極的に7組の生徒と関わることができて楽しかった」という言葉が聞かれました。

6月23日には、多摩特研球技大会が行われ、バスケットボールの試合を行ってきます。

○工事関係について

体育館のエアコン設置工事の3回目の検査が行われています。使えるようになるまでにもう少しかかります。夏休みには、職員室の拡張と旧第一技術室の普通教室化工事が行われます。まだ工事日程が決まっていないため、見通しが立たず困っています。

○民生委員・児童委員との顔合わせ会

コロナ禍の3年間に実施できなかった、本校の地域ので活動していただいている民生委員・児童委員の皆様と教職員の顔合わせ会を6月28日に実施する予定です。

(5) 運動会について

① 運動会担当より（遠藤彰秀主任教諭）

ご声援、ご協力ありがとうございました。何ができるかということから企画を進めていく中で、コロナ禍以前に戻ることが生徒にとって成長につながると思うのですが、教員の負担をどのように減らすかということを考えていただけないということでも悩みました。それでも最終的には、生徒の成長のために、ほぼコロナ禍以前の形で運動会を実施することを決めました。競技としては、ローハイド、ムカデ競争、また声を出しての応援、保護者の方の制限の撤廃など、以前の運動会に戻ったと感じられました。実際に後輩が先輩の姿を見て多くのことを感じていました。応援旗作成なども生徒が主体的に動いていました。クラスの生徒の気持ちをひとつにするために、時にはトラブルなども乗り越えなければならぬことが、このような行事を進めていく上でも大切になってきます。そんな体験も多くの生徒ができたのではないのでしょうか。

保護者の皆様からのアンケートからは多くのお褒めの言葉をいただきました。企画運営した私にとってもとても救われた想いがしました。ぜひ、生徒にも読んでほしいと思う内容でした。保護者の方のたくさんお越しいただき、一体感があり、会場の雰囲気が出ていました。課題としては、保護者の方の昼食をどうするかなどが挙げられます。今年度は、生徒の活動に重点を置いて準備を進めてきましたが、次年度は、来校いただく保護者の方の動きなども考慮して計画を立てていきたいと思っております。最後に、少し残念な話となりますが、運動会後の校庭や、校舎付近にお越しいただいた方が残されたと思われるごみが散見されました。生徒や職員で片づけをしていますので、次年度はこのようなごみが残らないようにご協力をお願いします。

② 当日参加した委員から

加藤委員 普段の生徒指導の賜物だと感じました。修了間際の来校となり、リレーや閉会式の様子を拝見しましたが、どれも整然としていて気持ちがよかったです。ここまでの教職員の皆さまの指導の素晴らしさを生徒の動きを見て感じました。

水谷委員 生徒の活躍している姿を見てとても頼もしく感じました。

得点版が地面においてあるような形となっているので、少し見にくいと感じました。見やすいように何か工夫ができるとよいのではないかと思います。

(6) 分科会

① 地域防災

小平市の防災危機管理担当の本橋様、澤田様から、今後の年間予定についての計画と校舎内の教室の割り振りについて、案を提示していただきました。基本的な考えとして体育館棟が地域住民の方々に解放されるということです。それに基づき、避難された方の実際の動きを考え、具体的な状況や検討事項を話し合って案の修正を図っていきました。次回以降、引き続き校舎内の教室割り振りを完成させ、2学期にマニュアル作成とその内容の地域代表の方への周知を行い、今年度末までに避難所運営マニュアルを完成させるという流れを確認しました。

② 学習支援

検定の会場準備費の用途についての検討

→予算不足の為、当面、検定結果の返却に使用するケースについてはA3 ファイルで代用。監査役2名を依頼した。

・第一回英語検定の振り返り

→急遽の監督サポーターの不足に、先生に対応してもらえて良かった。予め、欠席者が分かっていた良かった。しかし、各フロアに配置する事故対応の人員が不足。監督者以外に3名は必要。

・放課後学習教室で英検の学習を希望する生徒たちに指導員が対応してくれており、ありがたい。

③ 生徒・地域支援

「花みなみカフェ」で何か相談を受けたことが、その先につながっているのか。

➡ 保護者の居場所としての「花みなみカフェ」が少しずつ認知されてきているので、このまま継続していくことが大切である。相談を受けたところで何かその先につなげることができそうであれば考えていく。

学校情報で、地域からの連絡があり、学校で指導するという話があった

➡ その場にいる地域の大人が注意できるようにしてほしい。

この地域は、「大人が子供たちを注意できる地域」にしていきたい。

(7) 連絡事項

各委員の関わっている団体等からの報告連絡がありました。内容は省略させていただきます。

(8) 副会長より

7組の読み聞かせに初めて参加しました。とても楽しくやることができました。

「誰もが注意できる地域」というのはとても良いと思いますが、1回目に注意するのはとても難しいと思います。「あの人誰？」みたいに思われてしまいそうです。それでも2回目は「またあの人に注意された」と思ってもらえるかもしれません。地域みんなに顔を覚えてもらいたいですね。

《花みなみカフェ（第7回）実施のお知らせ》

保護者の皆様のちょっとした息抜きや、ホッとする場として企画した「花みなみカフェ」も7回目となりました。以下の日程で開催します。よろしければお越しください。詳細はホームページやスクールメールでご確認ください。



【花みなみカフェ（第6回）の様子】

7月15日（土） 13:30～16:00 本校 本校舎1階 旧第二技術室（予定）

【編集後記】

花みなみカフェも月に一回が定着し、土曜日の午後開催も軌道にのってきました。今日は行ってみようかな…と思ったら是非お立ち寄りいただきたいと思います。お散歩コースの候補の一つにさせていただくと幸いです。

6月に入って小平のグリーンロードや本校の校庭に咲くあじさいの花が、とても美しく咲いていました。夕方になりピンクから薄紫に変化する空をみると、「あじさい色に はなやぐ空～」で始まる「草原の別れ」という混声四部合唱（ア・カペラ）の曲の歌詞がいつも頭をよぎります。それぞれの夏の前の爽やかなひと時を満喫し、夏に向けて気持ちを充電させていきたいものです。

次回、第3回学校経営協議会は8月1日（火）13:30～15:00 本校調理室にて実施します。

副校長 飛永直子